

## 第44回

# とやま文学賞 作品募集

(一社) 富山県芸術文化協会では、広く県民に開かれた総合文芸誌『とやま文学』を創刊(昭57)以来、〈とやま文学賞〉を設けております。文学に関するあらゆる分野のすぐれた創作活動および研究の成果を選奨紹介し、特に気鋭の新人に発表の場を与えることをねらいとして創設された文学賞です。



## 選 者



短歌・俳句・川柳

川本 皓嗣 氏

学術博士(比較文学)  
比較詩学・比較文化論専攻



小説・評論・児童文学・随筆・詩

田中 和生 氏

文芸評論家

## 募集要項

**応募資格** 富山県在住・在勤・在学者、及び本県に居住したことのある方ならどなたでも応募できます。

**応募規定** 文学に関する未発表の作品に限ります。

■部門及び枚数(短歌・俳句・川柳は作品数)

手書きの場合は400字詰原稿用紙、ワープロ・パソコン原稿は20字20行とします。

| 部 門 | 枚数／作品数 |
|-----|--------|
| 短歌  | 30首    |
| 俳句  | 20句    |
| 川柳  | 20句    |

| 部 門       | 枚数／作品数     |
|-----------|------------|
| 小説(戯曲を含む) | 30枚以上50枚以内 |
| 文芸評論      |            |
| 児童文学      | 30枚程度      |
| 随筆        | 5枚から10枚程度  |
| 詩         | 3編以内       |

**応募方法** 原稿には必ず部門・作品名(ふりがな)・住所(郵便番号)・氏名(ふりがな)・生年月日・年齢・電話番号・職業・略歴を付記して郵送でご応募下さい。本県に居住したことのある方は居住した市町村名および出身地を明記して下さい。報道および協会の機関誌に掲載する場合があります。応募原稿はお返しいたしません。

**締 切** 令和7(2025)年9月30日(消印有効)

**選 考** 地元選考委員が幅広い観点から入賞候補作の選定を行った上で、選者が選考します。

**賞** とやま文学賞および佳作 各若干名

とやま文学賞には正賞(青山三郎氏制作木彫刻像)と副賞10万円(受賞者総額)を、佳作には記念品を贈呈します。

**発 表** 『とやま文学』第44号(2026年3月発刊予定)に掲載発表

**送 り 先** 〒930-0096 富山市舟橋北町7-1 富山県教育文化会館内  
(一社)富山県芸術文化協会事務局〈とやま文学賞〉係あて  
(応募作品であることを明記して下さい。)

## 選者紹介

### 短歌・俳句・川柳

かわもと こうじ  
**川本 皓嗣** 氏

学術博士(比較文学)  
比較詩学・比較文化論専攻

日本学士院会員、東大名誉教授、国際比較文学会名誉会長、正岡子規国際俳句賞選考委員。著書に『日本詩歌の伝統—七と五の詩学』(サントリー学芸賞、小泉八雲賞)、『アメリカの詩を読む』、『対訳 フロスト詩集』、『俳諧の詩学』(ドナルド・キーン賞大賞)、年頭の新著に『新編 イギリス名詩選』(いずれも岩波書店)、共編著に『アメリカ名詩選』、『芭蕉解体新書』など。主として東西の詩と詩学、文学理論などを研究対象とし、フランス近代詩象徴詩から、イギリス、アメリカ、日本、中国の詩まで、「詩とは何か」という視点から「詩と詩学」に関する論文を多く発表している。

### 小説・評論・児童文学・随筆・詩

たなか かずお  
**田中 和生** 氏

文芸評論家

文芸評論家、法政大学文学部日本文学科教授。1974年富山県生まれ。慶應義塾大学経済学部および文学部卒業。2000年、評論「欠落を生きる—江藤淳論」で第7回三田文学新人賞(評論部門)を受賞し、文芸評論家として出発。2006年より法政大学文学部に着任、現在に至る。教育活動と並行し、2006～2014、2024年三田文学新人賞選考委員、2009～2011年『群像』新人文学賞選考委員、2010～2022年織田作之助賞選考委員、2025年より永井荷風新人賞選考委員を務める。著書に『江藤淳』、『新約太宰治』、『吉本隆明』などがある。

お問い合わせ (一社)富山県芸術文化協会

TEL : 076-441-8635(内線123)

FAX : 076-442-4635

E-mail : info@pat.or.jp

過去の「とやま文学」バックナンバーや  
最新号の案内は、こちらのページへ



<https://www.pat.or.jp/>

主催 (一社)富山県芸術文化協会 富山県

後援 **NHK** 富山放送局 富山県教育委員会 (公財)富山県文化振興財団